

# 週 報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

## 2025 年度年間聖句

「良い土地に蒔かれたものとは、  
御言葉を聞いて悟る人」  
(マタイによる福音書 13 章 23 節)



### どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半  
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時  
祈 祷 会 各水曜日  
○昼の聖書研究祈祷会  
(第3・午後2時)  
●夕の祈祷会  
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

協力牧師 堂 本 陽 子

協力牧師 井 東 炤

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65

TEL. 042-742-1593

FAX. 042-742-1393

ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>

郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計

00290-4-80707

# 3188 2025 年 12 月 14 日

## 礼 拝 式 順 序

(待降節第3主日～アドヴェントⅢ礼拝～)

司式者 井 殿 準  
奏楽者 黒 田 理 佳

前 奏	奏 楽 者
招 詞 詩編 24 : 9 ~ 10	司 式 者
讃 美 歌 235 「久しく待ちにし」	一 同
聖 書 イザヤ 40 : 1 ~ 11 (旧 P.1123)	司 式 者
使徒信条 (93-4-A)	一 同
祈 祷	司 式 者
讃 美 歌 173 「荒れ地よ、喜べ」	一 同
説 教 「何が始まっているのか」	司 式 者
祈 祷	〃
讃 美 歌 237 「聞け、荒れ野から」	一 同
献 金	〃
主の祈り (93-5-A)	〃
頌 栄 29 「天のみ民も」	〃
祝 祷	司 式 者
答 唱 40-6 「アーメン」	一 同
～「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう～	
報 告	司 式 者
讃 美 歌 92 「主よ、わたしたちの主よ」	一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「愛を待つ」

(エレミヤ 36 : 1 ~ 10)

ユダ王国の王ヨヤキムは、耳障りな言葉ばかりを語るエレミヤの口を封じるために、エレミヤに神殿の出入りを禁じた。そこでエレミヤは、ネリヤの子バルクを呼び寄せ、自分が神から託された言葉の一切を語って巻物に書き記させ、それを神殿に集まった人々に語り聞かせるように命じた (6 節)。

エレミヤから託された巻物を読むバルクの言葉を聞いて、ゲマルヤの子ミカヤは、直ちに王宮の役人たちに巻物の件を報告し、役人たちもバルクより巻物の言葉を聞く。彼らはその言葉の重大性に気づき、その旨を王ヨヤキムに告げるが、王とその側近は、巻物の言葉を聞いても決して悔い改めようとはしなかった (36 : 24)。ヨヤキムは巻物を切り裂き、暖炉にくべて燃やしてしまう (36 : 23)。しかし、神は、エレミヤに再び巻物を書くことを命じる (36 : 28)。

神は、エレミヤが何度投獄されようとも、何度頑なな民に絶望しようとも、彼に預言を語らせる。神の言葉は、人が破り捨てても、火にくべて燃やしても、消えてなくなることなく、人の耳に届けられるべく何度でも記されて行く。これは神の忍耐の業にほかならない。神は、忍耐強く、我々が悔い改めることを待っていていらっしゃるのだ (3 節)。

我々はしばしば悔い改めることが苦手である。自分を慰めてくれる言葉、励ましてくれる言葉は喜んで聴くが、そうでない言葉については、耳を閉ざしたり、聞き流してしまい、聴くべき言葉を聴けていないことがある。しかし、それは大きな問題なのだとエレミヤは我々に告げている。

我々の生きる世界は、まことに罪深く、破れに満ちている。神にとっては、御手をふるって世界を一変させることは容易いことに違いない。しかし、神は、我々自身が神の言葉を聞いて悔い改めること、神を愛し、隣人を愛する者となることを忍耐強く待っていていらっしゃるのだ、地に平和が満ちるために。

アドヴェントを過ごす我々は、主のご降誕の恵みを胸に刻みつつ、その恵みに応える者として、神の口から出る一つ一つの言葉を大切に聴いて行こう。